

# 事業報告書

2018 年度

学校法人 村川学園

大阪調理製菓専門学校

大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA

山手調理製菓専門学校

大阪健康ほいく専門学校

幼保連携型すこやか認定こども園

# 目 次

1.	法人の概要	2
	① 理念・目的・育成人材像	2
	② 学校法人の沿革	2
	③ 設置する学校、学科の入学定員及び総定員（2018年度）	3
	④ 授業料等（2018年度）	4
	⑤ 役員の概要	4
2.	2018年度事業の概要	5
	① 基本方針	5
	② 各校の概要	5
	A) 大阪調理製菓専門学校	5
	B) 大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA	6
	C) 山手調理製菓専門学校	6
	D) 大阪健康ほいく専門学校	7
	E) 幼保連携型すこやか認定こども園	7
3.	財務の概要	10

## 1. 法人の概要

### ① 理念・目的・育成人材像

#### **理念・目的・育成人材像**

技術だけでなく社会人として通用する人間性、調理師・製菓衛生師・保育士としてあるべき姿を教え、人を育てる

本校は、建学の精神（実学教育と豊かな知識の修得）に基づき、人材育成に努めてきた。

特に、学園三訓である

#### 「正しい規律を守ること」

専門職業人として基本となる事項である。規律を守ることが自己の理性、すなわち判断力が正しい方向へと導かれるのである。

#### 「深い知識と高度な技術を学ぶこと」

深い知識を備え高度な技術を持つことが、社会で即戦力を求められる専門職業人としての責任である。

#### 「高い理想を持つこと」

常に高い理想を持つこと、すなわち目標を持つこと。高い目標を掲げ達成することこそが自己の成長につながるのである。

以上を教育方針の根幹として掲げている。

本校は、専門職業人（調理師、製菓衛生師、保育士）を輩出する専門教育機関として調理・製菓事業、福祉・幼児教育事業に貢献することを目的とする。

さらに、大阪健康ほいく専門学校 保育科において、乳幼児教育者としての教育目標を次に掲げる。

#### 一、慈愛

一人ひとりが相手を慈しみ、思いやる気持ちを持つことで、豊かな人格が形成される。人格が形成されることにより自立した主体的な人材となるのである。

#### 一、誠実

自ら真理を求めようとする意欲を持ち、技術を向上させること。自由な発想で誠実に行動し、他者を思いやり人間力豊かな社会のリーダーとなること。

#### 一、純心

深い教養を身に付け、情操を養うこと。人を思いやり、人のために尽くし、人の立場に立って物事を考えられる素直な心を持つこと。

### ② 学校法人の沿革

1983年4月 学校法人村川学園設立

大阪調理師専門学校 調理師科 設立

1996年4月 南大阪社会福祉専門学校 介護福祉科設立（2009年3月廃止）

1998年4月 大阪調理師専門学校製菓衛生師科 設立

2000年4月 大阪調理師専門学校より大阪調理製菓専門学校に校名変更

- 2001年4月 南大阪社会福祉専門学校精神保健福祉科（昼間課程）一般養成 設立  
（2007年廃止）
- 2002年4月 南大阪社会福祉専門学校より大阪健康福祉専門学校に校名変更
- 2007年4月 大阪健康福祉専門学校 保育科 設立  
大阪健康福祉専門学校 精神保健福祉通信教育科短期養成 設立
- 2008年4月 大阪健康福祉専門学校 精神保健福祉通信教育科一般養成 設立
- 2009年4月 すこやか保育園 設立  
大阪健康福祉専門学校より大阪健康ほいく専門学校に校名変更
- 2011年4月 大阪調理製菓専門学校 製菓総合本科 設立
- 2012年4月 大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA  
調理師科、製菓衛生師科、製菓総合本科 設立
- 2014年3月 大阪調理製菓専門学校 製菓総合本科、大阪健康ほいく専門学校 保育科  
文部科学省による職業実践専門課程に認定
- 2015年2月 大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA 製菓総合本科  
文部科学省による職業実践専門課程に認定
- 2015年4月 すこやか保育園より 幼保連携型すこやか認定こども園に変更
- 2016年4月 山手調理製菓専門学校 調理師科、製菓衛生師科、製菓総合本科 設立
- 2017年4月 大阪調理製菓専門学校 調理総合本科 設置  
山手調理製菓専門学校 調理総合本科 設置  
大阪健康ほいく専門学校 初等教育科（こども科より名称変更） 設置
- 2018年4月 大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA 調理総合本科 設置
- 2019年4月 東京山手調理師専門学校 調理師科、調理総合本科 設立

③ 設置する学校、学科の入学定員及び総定員（2018年度）

（人）

学校名	学科名	入学定員	収容定員
大阪調理製菓専門学校	調理師科	160	160
	調理総合本科	40	80
	製菓衛生師科	160	160
	製菓総合本科	80	160
大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA	調理師科	120	120
	調理総合本科	40	80
	製菓衛生師科	80	80
	製菓総合本科	40	80
山手調理製菓専門学校	調理師科	80	80
	調理総合本科	40	80
	製菓衛生師科	80	80
	製菓総合本科	40	80
大阪健康ほいく専門学校	保育科	80	160
	初等教育科	20	80
幼保連携型すこやか認定こども園		66	66

④ 授業料等（2018年度）

（千円）

		大阪調理製菓専門学校				大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA				山手調理製菓専門学校				大阪健康ほ いく専門学 校	
		調理 師科	調理 総合 本科	製菓 衛生 師科	製菓 総合 本科	調理 師科	調理 総合 本科	製菓 衛生 師科	製菓 総合 本科	調理 師科	調理 総合 本科	製菓 衛生 師科	製菓 総合 本科	保育 科	初等 教育 科
入学金		250				250				250				200	
授業料	1年	760				760				760				800	
	2年	/	760	/	760	/	760	/	760	/	760	/	760	/	750
	3年	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	600
	4年	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	600
実習費	1年	700				700				700				/	/
	2年	/	930	/	803	/	930	/	803	/	803	/	803	/	/
施設管理 費	1年	100				100				100				200	
	2年	100				100				100				200	
	3年	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	200
	4年	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	200
入学選考料		20				20				20				20	

⑤ 役員の概要

理事：7名（常勤4名、非常勤3名）

監事：2名（非常勤2名）

評議員：15名（常勤6名、非常勤9名）

[学校法人村川学園 理事名簿]

項目	氏名	備考
理事長	村川 良夫	
常任理事	村川 秀夫	校長／園長
常任理事	大家 桃子	事務局長
常任理事	木村 素子	学科長
理事	川端 壽一	学外
理事	前田 和子	学外
理事	山田 昭範	学外

## 2. 2018年度事業の概要

### ① 基本方針

#### [調理師・製菓衛生師養成施設]

設立設置の起源は、昭和25年創業の和食「うお健」という料理屋である。「おいしいものをお腹いっぱい」という経営理念の下、お店に来ていただいたお客様に感動を与える調理師の育成を目的とし、「現場で活躍できる真の調理師、パティシエを育成したい」という想いから、大阪府で学校法人立第一号の大阪調理師専門学校が誕生した。技術だけでなく社会人として通用する人間性、調理師・製菓衛生師としてあるべき姿、料理や菓子への感性、情熱など、人を育てるといふ教育理念を掲げる。原点である料理屋は、現在では食の総合ビルとして3店舗の専門料理店（日本料理専門店、中国料理専門店、ステーキハウス）があり、さらに本校の学生専用の西洋料理技術研究施設を設置した。在学中からプロ現場と同様の環境に身をおき、実学に基づき、現場に即した授業を展開する。学内にはショップ施設、カフェ施設を併設。通常の教室の実習台では習得できない、プロの仕事の流れを体感しながら調理製菓技術を学べる環境を整えている。

#### [保育士養成施設]

指定養成施設として必須の現場実習に加え、学内にある附属施設 すこやか認定こども園（泉大津市認可）にて実際の子どもたちと関わり、学ぶ環境がある。教科書で学ぶ保育原理等をすぐに保育現場で実践し、よりリアルなスキルを身につける。

#### [認定こども園]

食を通じた子どもの健全育成を図り発育及び発達過程に応じて食に関する体験を豊富に取り入れる。

食育計画の下に「大阪調理製菓専門学校」と連携し食育推進園として食育を進める。「大阪健康ほいく専門学校」の学生の保育・教育の実習を行いその指導にあたる。

### ② 各校の概要

#### A) 大阪調理製菓専門学校

##### 1. 主な教育活動

- ・実践トレーニング（バンケットシミュレーション、レストラントレーニング、カフェトレーニング、ショップトレーニング）
- ・ルーティントレーニング
- ・産官学接続型プログラム  
（大丸松坂屋百貨店、京阪ザ・ストア、エキマルシェ、天王寺 MIO など）
- ・海外研修  
（フランスまたはイタリア 移動日を含め7日間）
- ・コンクール出場  
全国調理師養成施設協会 調理技術コンテスト

大阪府洋菓子コンテスト

2. 募集の状況  
新入生 248 名、進級生 190 名
3. 修了の状況  
卒業者数 315 名
4. 資格取得状況  
製菓衛生師 85%  
調理師免許 100%  
パティスリーラッピング検定 100.0%  
食育指導士 92%  
食育インストラクター 100.0%  
大阪府ふぐ処理講習 100.0%  
技術考査 97%  
ライフケアカラー検定 2 級 60%
5. 就職状況  
就職率：97.2%

B) 大阪調理製菓専門学校 ecole UMEDA

1. 主な教育活動
  - ・実践トレーニング（バンケットシミュレーション、レストラントレーニング、カフェトレーニング、ショップトレーニング）
  - ・ルーティントレーニング
  - ・産官学接続型プログラム  
（大丸松坂屋百貨店、京阪ザ・ストア、エキマルシェなど）
  - ・海外研修  
（フランス 移動日を含め 7 日間）
  - ・コンクール出場  
全国調理師養成施設協会 調理技術コンテスト  
大阪府洋菓子コンテスト
2. 募集の状況  
新入生 205 名、進級生 112 名
3. 修了の状況  
卒業者数 231 名
4. 資格取得状況  
製菓衛生師 81%  
調理師免許 100%  
食育指導士 100.0%  
食育インストラクター 100.0%

大阪府ふぐ処理講習 100.0%

技術考査 85%

5. 就職状況

就職率：94.3%

C) 山手調理製菓専門学校

1. 主な教育活動

・実践トレーニング（バンケットシミュレーション、レストラントレーニング、カフェトレーニング、ショップトレーニング）

・ルーティントレーニング

・産官学接続型プログラム

（小田急百貨店、一般社団法人全国心理業連合会など）

・海外研修

（フランス 移動日を含め7日間）

・コンクール出場

ジャパンケーキショー

2. 募集の状況

新入生 148 名、進級生 78 名

3. 修了の状況

卒業者数 142 名

4. 資格取得状況

製菓衛生師 74%

調理師免許 100%

食育インストラクター 100.0%

技術考査 100.0%

5. 就職状況

就職率：100%

D) 大阪健康ほいく専門学校

1. 主な教育活動

・ピアノフォローアップ（お昼休みを利用して担当教員が個別指導をする）

・すこやか認定こども園での実習

2. 募集の状況

・新入生 55 名、進級生 69 名

・高校 3 年生の状況（4/30 時点）

6/1～の AO 入試エントリーの意思表示をしている者：47 名

エントリー後も丁寧に対応し、入学まで油断なくつなげる。



3. 修了の状況

卒業者数 56 名

4. 資格取得状況

保育士 100% (56 名)

幼稚園教諭 62.5% (35 名)

認定ダンス指導員 (初級) 100%

保育英語検定 100%

5. 就職状況

・卒業生の進路状況

保育業界への就職を希望し、就職した者：56 名中 50 名 (89%)

その他の業界への就職を希望し、就職した者：56 名中 5 名 (9%)

就職を希望しなかった者：56 名中 1 名 (2%)

・就職希望者における就職率：55 名中 55 名 (100%)

【精神保健福祉通信教育科】

6. 主な教育活動

- ・レポート学習 (課題に沿ったレポートを作成、科目の理解を深める)
- ・スクーリング (7 月・8 月の土曜日及び日曜日の中で計 6 日間登校)
- ・精神保健福祉援助実習 (医療・他機関の 2 施設で行う。計 210 時間)

7. 募集の状況

新入生 202 名、進級生 71 名

8. 修了の状況

卒業者数 204 名 (短期養成 136 名、一般養成 68 名) ※再履修生含む

9. 資格取得状況

精神保健福祉士 (合格率：短期養成 90.2%、一般養成 61.7%)

10. 就職状況

社会人対象の通信課程につき、主に在職者となる。

E) 幼保連携型すこやか認定こども園

1. 主な教育活動

- ・すこやか祭り・運動会・生活発表会  
主な行事でクラブ活動の集大成を発表
- ・就学前教育→アプローチカリキュラムによる幼児期の終わりまでに育って欲しい 10 の姿の確認と評価、各小学校との連携と申し送り
- ・保育科との連携

教育・保育実習の内容の充実、副園長の授業による学生教育の充実

・調理製菓学校との連携

誕生会ケーキやアレルギー対応のおやつを提供、キッズクッキングの受講。

給食会議による行事食やメニューの工夫、食育の充実

2. 募集の状況

新入園児名 7名 進級児名 65 合計 72名

3. 修了の状況

卒園児 14名

3. 財務の概要

学校法人 村川学園

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

資 金 収 支 計 算 書

(単位:千円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	2,157,893	人件費支出	456,110
手数料収入	22,055	教育研究経費支出	365,529
寄付金収入	0	管理経費支出	328,503
補助金収入	80,644	借入金等利息支出	19,578
資産売却収入	5,885	借入金等返済支出	264,996
付随事業・収益事業収入	59,804	施設関係支出	16,241
受取利息・配当金収入	6	設備関係支出	130,169
雑収入	67,708	資産運用支出	50,186
借入金等収入	0	その他の支出	125,514
前受金収入	1,509,658	資金支出調整勘定	-110,683
その他の収入	90,523	次年度繰越支払資金	1,728,783
資金収入調整勘定	-1,502,326		
前年度繰越支払資金	883,076		
<b>収入の部合計</b>	<b>3,374,926</b>	<b>支出の部合計</b>	<b>3,374,926</b>

事 業 活 動 収 支 計 算 書

(単位:千円)

科 目		金 額	科 目		金 額
教育活動収支	学生生徒等納付金	2,157,893	活動外収支	借入金等利息	19,578
	手数料	22,055		教育活動外支出計	19,578
	寄付金	0		教育活動外収支差額	△ 19,572
	経常費等補助金	80,644	経常収支差額	1,094,669	
	付随事業収入	59,804	特別収支	資産売却差額	5,885
	雑収入	67,708		特別収入計	5,885
	教育活動収入計	2,388,104		その他の特別支出	136
	人件費	456,110		特別支出計	136
	教育研究経費	480,732	特別収支差額	5,749	
	管理経費	337,021	基本金組入前 当年度収支差額	1,100,418	
教育活動支出計	1,273,863	基本金組入額合計	△ 381,761		
教育活動収支差額	1,114,241	当年度収支差額	718,657		
教育	受取利息・配当金	6	前年度繰越収支差額	△ 884,653	
	その他教育活動外収入	0	基本金取崩額合計	11,998	
	教育活動外収入計	6	翌年度繰越収支差額	△ 153,998	

貸 借 対 照 表

(単位:千円)

資 産 の 部	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 資 産	11,274,825	11,227,613	47,212
流 動 資 産	1,734,189	908,291	825,898
<b>資 産 の 部 合 計</b>	<b>13,009,014</b>	<b>12,135,904</b>	<b>873,110</b>

負 債 の 部	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固 定 負 債	2,650,016	2,923,345	△ 273,329
流 動 負 債	1,905,283	1,859,262	46,021
<b>負 債 の 部 合 計</b>	<b>4,555,299</b>	<b>4,782,607</b>	<b>△ 227,308</b>

純 資 産 の 部	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
基 本 金	8,607,713	8,237,950	369,763
繰 越 収 支 差 額	11,998	△ 884,653	896,651
<b>純 資 産 の 部 合 計</b>	<b>8,619,711</b>	<b>7,353,297</b>	<b>1,266,414</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>13,175,010</b>	<b>12,135,904</b>	<b>1,039,106</b>

財 産 目 録

(単位:千円)

<b>1 資 産 総 額</b>	<b>13,009,014</b>	
固 定 資 産	11,274,825	土地・建物・構築物・教育研究用機器備品・管理用機器備品・ 図書・車両・減価償却引当特定資産・電話加入権・ソフトウェア・ 出 資 金 ・ 預 託 金
流 動 資 産	1,734,189	現 金 預 金 ・ 未 収 入 金 ・ 貯 蔵 品
<b>2 負 債 総 額</b>	<b>4,555,299</b>	
固 定 負 債	2,650,016	長 期 借 入 金 ・ 退 職 給 与 引 当 金
流 動 負 債	1,905,283	未 払 金 ・ 前 受 金 ・ 預 り 金
<b>3 正 味 財 産</b>	<b>8,453,715</b>	

監 査 報 告 書

令和元年 5月20日

学校法人村川学園  
理事長 村川 良夫 様

監事 井 関 達 一 (自署)

学校法人 村川学園 寄附行為第16条に基づき、平成30年度収支決算書及び平成30年度事業報告書における監事監査を下記のとおり実施したところ、次のとおりであったので報告します。

なお、指摘事項については、早急に改善してください。

記

- 1 実施日時 令和元年 5月15日(水) 13時00分～16時00分
- 2 監査結果 次のとおり

事 項	意 見	指 摘 事 項	備 考
平成30年度収支決算書について	適正である。		
平成30年度事業報告書について	/		

〔記載上の注意事項〕

- 1 意見欄は「適正である」「概ね適正である」「一部改善を要する」等の意見を記入してください。
- 2 不認定の場合監事は、次のことを行ってください。
  - ① 理事長に対して改善を求める。
  - ② 理事会・評議員会の開催による改善を求める。

- 3 監事監査報告書は、所轄庁あてと理事長あてそれぞれ原本を一部ずつ作成してください。

以上

監 査 報 告 書

令和元年5月20日

学校法人村川学園  
理事長 村川 良夫 様

監事  
(自署)

澤田正彦

学校法人 村川学園 寄附行為第16条に基づき、平成30年度収支決算書及び平成30年度事業報告書における監事監査を下記のとおり実施したところ、次のとおりであったので報告します。

なお、指摘事項については、早急に改善してください。

記

- 1 実施日時 令和元年5月15日(水) 13時00分～16時00分
- 2 監査結果 次のとおり

事 項	意 見	指 摘 事 項	備 考
平成30年度収支決算書について	適正		
平成30年度事業報告書について	〃		

〔記載上の注意事項〕

- 1 意見欄は「適正である」「概ね適正である」「一部改善を要する」等の意見を記入してください。
- 2 不認定の場合監事は、次のことを行ってください。
  - ① 理事長に対して改善を求める。
  - ② 理事会・評議員会の開催による改善を求める。
- 3 監事監査報告書は、所轄庁あてと理事長あてそれぞれ原本を一部ずつ作成してください。

以上